

最低賃金と採用時の最低時給に関する山梨県内企業の実態調査（2024 年 9 月）

採用時の最低時給は 1,058 円 人材確保を背景に最低賃金より 70 円高く

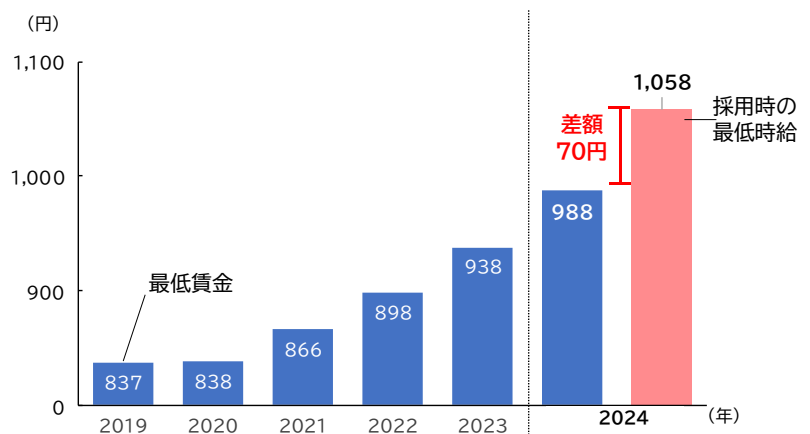
～都市部と地方で格差が顕著で、「山梨」は全体平均を下回る～

毎年 10 月に改定される最低賃金。
2024 年の全国加重平均は、2023 年より 51 円高い 1,055 円となった。
山梨県は前年比で 50 円高い 988 円となった。

目標としていた全国加重平均 1,000 円を 2023 年に達成した政府は、次なる目標として 2030 年代半ばまでに 1,500 円を目指すことを「経済財政運営と改革の基本方針 2024」（骨太の方針 2024）で示して

いるが、石破首相は引き上げ時期を前倒しして、2020 年代に全国平均 1,500 円達成を目指している。継続的な賃金の引き上げは、労働者の収入増加による消費の活性化などが期待される一方で、企業側からみると人件費上昇による収益の悪化などが懸念されている。

そこで、帝国データバンク甲府支店は、最低賃金改定に対する企業の見解について、山梨県内の企業に調査を実施した。本調査は、TDB 景気動向調査 2024 年 9 月調査とともに行った。

最低賃金と採用時の最低時給


※ 採用時最低時給（平均値）は、小数点第 1 位を四捨五入している（日給、週給、月給の場合、時給に換算）

※ 調査期間は 2024 年 9 月 13 日～30 日、調査対象は山梨県 255 社で、有効回答企業数は 116 社（回答率 45.5%）

調査結果（要旨）

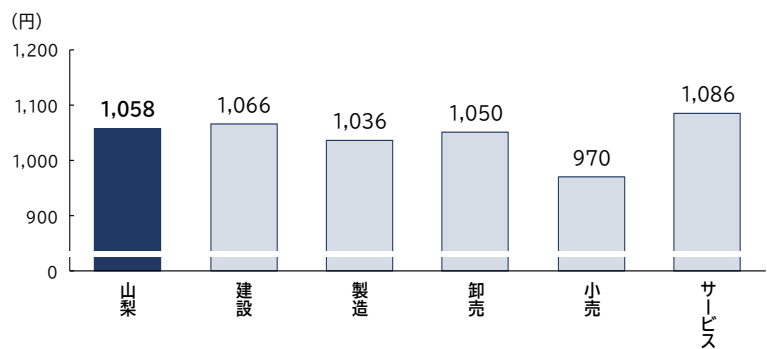
- 従業員採用時の最低時給は平均 1,058 円、2024 年改定の最低賃金を 70 円上回る
- 業界別では、『サービス』が 1,086 円でトップ
- 「東京都」は 1,340 円で唯一 1,300 円超、「山梨県」は 30 位の 1,058 円、地域格差が顕著に

1. 従業員採用時の最も低い時給は平均 1,058 円、最低賃金時間額を 70 円上回る

正社員、非正規社員を問わず、従業員を採用するときの最も低い時給を尋ねたところ、全体平均は 1,058 円となり、改定後の最低賃金の加重平均 988 円を 70 円上回った。

業界別では、『サービス』が 1,086 円でトップとなった。次いで、『建設』(1,066 円)が続き、2 業界で山梨県内全体の平均以上になった。他方、『小売』は 970 円にとどまり、2024 年の最低賃金 988 円を下回り、業界間で大きな差があることが分かった。

採用時の最低時給～業界別～



2. 都道府県別、「東京都」がトップで唯一 1,300 円超、「山梨県」は 30 位、地域間での格差が顕著に

正社員、非正規社員を問わず、採用時の最低時給を都道府県別で比較すると、最も高かったのは「東京」の 1,340 円で、全国で唯一 1,300 円を超えた。以下、「神奈川」(1,277 円)、「大阪」(1,269 円)、「愛知」(1,208 円)、「埼玉」(1,205 円)と続き、「千葉」(1,202 円)の 5 府県で 1,200 円台となった。トップの「東京」は、改定された最低賃金と採用時の平均時給の差額が +177 円と最大だった。

一方で、「青森」(984 円)、「秋田」(990 円)、「鹿児島」(991 円)の 3 県は最低時給の平均が 1,000 円を下回った。特に、「青森」は改定された最低賃金と採用時の平均時給の差額が最小で、その差額は +31 円であった。なお、「秋田」「鹿児島」も +30 円台後半の差額となっており、地方において差額が小さくなる傾向が表れた。

全国との比較では、「山梨県」は全国 (1,167 円) を 109 円下回り、全国 30 位であった。都道府県別の最低時給は、地域間の格差が顕著に表れるとともに、2024 年度の最低賃金時間額と採用時の最低時給との間に乖離がみられた。

最低賃金と採用時の最低時給～都道府県別～

都道府県	2024年度 最低賃金 時間額	採用時 最低時給 (平均値)	順位	差額	都道府県	2024年度 最低賃金 時間額	採用時 最低時給 (平均値)	順位	差額
北海道	1,010	1,116	13	106	滋賀	1,017	1,080	22	63
青森	953	984	47	31	京都	1,058	1,153	8	95
岩手	952	1,032	39	80	大阪	1,114	1,269	3	155
宮城	973	1,066	28	93	兵庫	1,052	1,160	7	108
秋田	951	990	46	39	奈良	986	1,088	20	102
山形	955	1,025	41	70	和歌山	980	1,054	32	74
福島	955	1,040	37	85	鳥取	957	1,000	44	43
茨城	1,005	1,100	17	95	島根	962	1,048	34	86
栃木	1,004	1,093	18	89	岡山	982	1,111	15	129
群馬	985	1,115	14	130	広島	1,020	1,108	16	88
埼玉	1,078	1,205	5	127	山口	979	1,090	19	111
千葉	1,076	1,202	6	126	徳島	980	1,013	43	33
東京	1,163	1,340	1	177	香川	970	1,051	33	81
神奈川	1,162	1,277	2	115	愛媛	956	1,030	40	74
新潟	985	1,055	31	70	高知	952	1,047	35	95
富山	998	1,146	10	148	福岡	992	1,131	12	139
石川	984	1,071	26	87	佐賀	956	1,062	29	106
福井	984	1,077	24	93	長崎	953	1,036	38	83
山梨	988	1,058	30	70	熊本	952	1,069	27	117
長野	998	1,079	23	81	大分	954	1,076	25	122
岐阜	1,001	1,153	8	152	宮崎	952	1,017	42	65
静岡	1,034	1,138	11	104	鹿児島	953	991	45	38
愛知	1,077	1,208	4	131	沖縄	952	1,045	36	93
三重	1,023	1,085	21	62	全体	1,055	1,167	—	112

注1: 2024年度最低賃金時間額は、「地域別最低賃金の全国一覧」(厚生労働省ホームページ)

注2: 採用時最低時給(平均値)は、小数点第1位を四捨五入したもの

注3: 集計可能な企業を対象に算出

注4: 青色の網掛けは「全国」を除く値が大きい上位3都道府県、赤色の網掛けは下位3都道府県を示す

まとめ

本調査の結果、山梨県内企業が従業員を採用するときの最低時給の平均は 1,058 円となり、2024 年改定後の最低賃金 988 円を 70 円上回った。最低賃金での募集では継続的な従業員の確保が難しいため、最低賃金を上回る金額に引き上げざるを得ない企業が多いと考えられる。業界間で格差が表れるだけでなく、物価の違いなどにより、地域間での格差が顕著に表れ、2024 年度の最低賃金時間額と採用時の最低時給との間に乖離が生じていることが確認できた。

物価上昇が続くなかで「従業員の給料を上げることで消費を促す必要がある」といった声がある一方、「130 万円の壁を超えないようにするため、労働時間を意図的に抑える従業員が増え、人手不足が加速する」という声も多数寄せられている。

政府は、最低賃金の引き上げを続けるだけでなく、人手不足や価格転嫁への対応、社会保障制度の改定など、企業の経営状況がひっ迫しないよう政策を打ち出していく必要があるだろう。

〈参考〉企業からのコメント

- ・ 所得を増やそうと考えているのならば、各種制約の上限も上げる対策をしてほしい
(各種商品小売業)
- ・ 「106 万円の壁」を上げない限り、パートの収入は変わらず、人手不足が増すばかり (建設)
- ・ 最低賃金が上がるのは良い事かも知れないが、決定から施行まで期間が短いため様々な面で対応に苦慮する
(飲食料品卸売業)
- ・ 物価も上がっているので、賃上げは必定了。山梨の最低賃金も 1,000 円以上にすべきでは
(リース・賃貸業)
- ・ 雇用などの手厚い保障のある正社員と非正規社員の時間単価は、一律に比較できないのではないか
(情報サービス業)
- ・ 人件費の高騰を価格に転嫁できない企業は非常に厳しい状況を招く事が予測できる
(鉄鋼・非鉄・鉱業)

【 内容に関する問い合わせ先 】

(株) 帝国データバンク 甲府支店

支店長 岡田 哲也

TEL 055-233-0241 FAX 055-233-0245

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。